

# 経済・金融 フラッシュ

## 3月マネー関連:

### 3月の貸出残高は伸びがさらに鈍化

経済調査部門 副主任研究員 上野 剛志

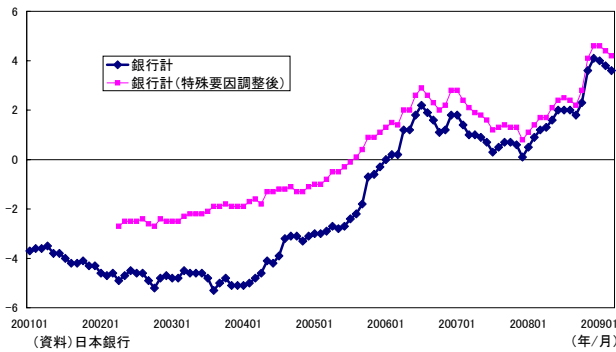
TEL:03-3512-1870 E-mail: tueno@nli-research.co.jp

#### 1. 貸出動向: 伸びがさらに鈍化

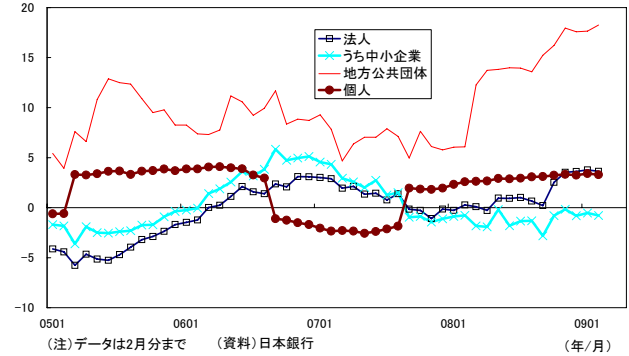
貸出・資金吸収動向等によると、3月の総貸出(平残、銀行計)は前年比 3.6%増と、3ヶ月連続で伸び率が低下した。企業の運転資金需要は根強いものの、景気悪化に伴う設備資金需要の低迷、供給側である金融機関の貸出態度悪化、CP・社債市場の機能回復といった需給・市場要因があるようだ。

政府の緊急保証制度による下支えはあるものの、中小企業向け貸出は低迷しており、中小企業の資金繰り逼迫感に改善の兆しは見られない(図表1~4)。

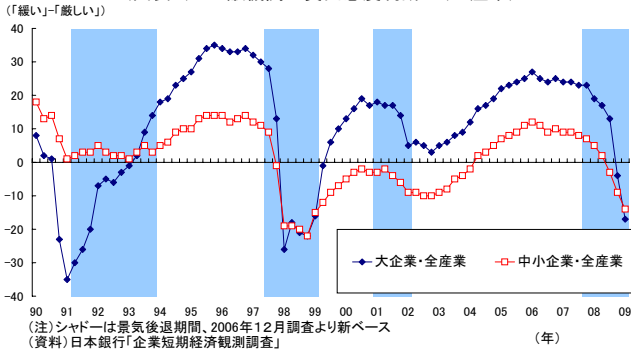
(前年比、%) (図表1) 貸出動向



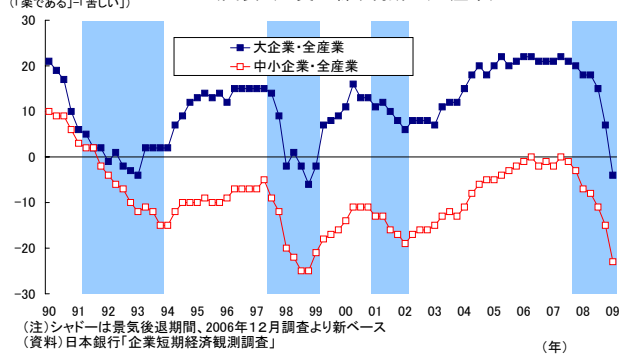
(前年比、%) (図表2) 貸出先別貸出金



(図表3) 金融機関の貸出態度判断DI(全産業)



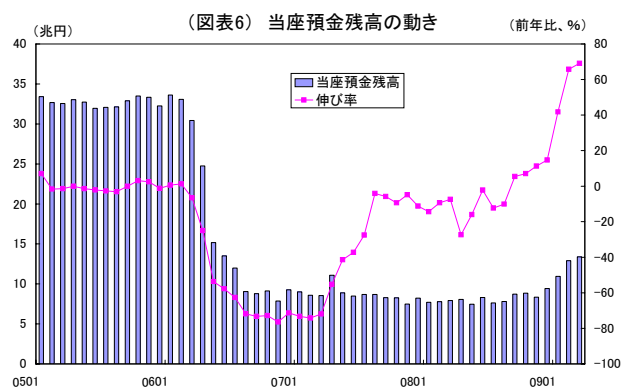
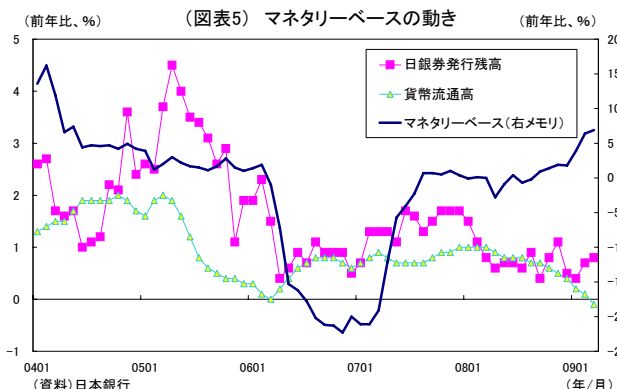
(図表4) 資金繰り判断DI(全産業)



#### 2. マネタリーベース: 当座預金残高は前年比 69.1%の大幅な伸び

3月のマネタリーベースは、前年同期比 6.9%増と前月の同 6.4%増を上回り 2004年5月(同 7.4%)以来の高い伸びを記録。伸び率は3ヶ月連続で拡大している。(図表5)。

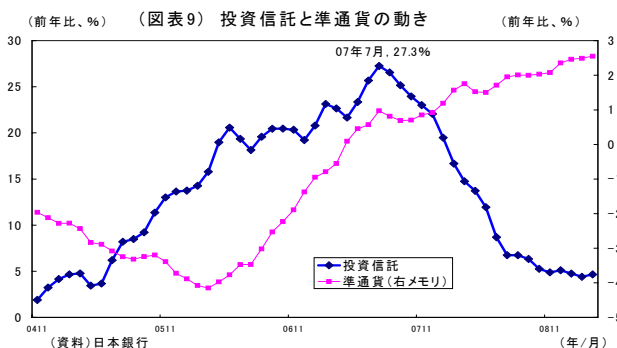
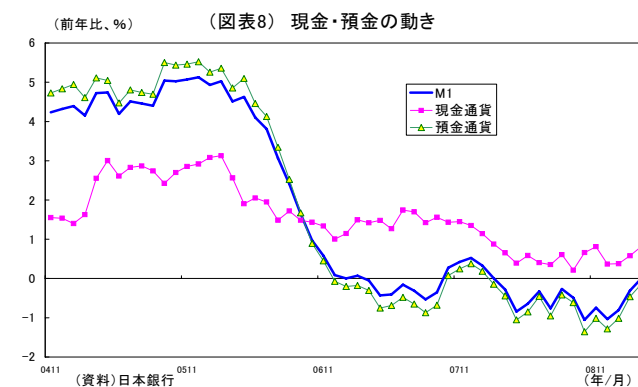
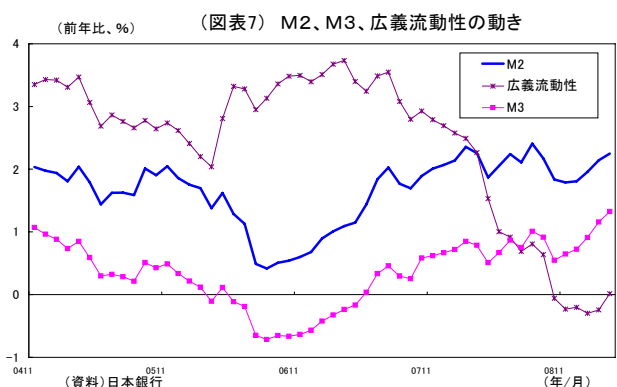
日銀はこれまでも金融市場の安定化のために大規模資金供給を行ってきたが、年度末を控えさらにその動きを活発化、日銀当座預金残高が前年比 69.1%増(残高は直近3ヶ月間で4割増)と大幅な伸びを記録したことが要因となっている(図表 6)。



### 3. マネーストック：安全資産へのシフトの動きが継続

M2 (現金、国内銀行などの預金) は 3 ヶ月連続、M3 (M2 にゆうちょ銀などすべての預金取扱金融機関の預貯金を含めた) は 5 ヶ月連続で伸び率が高まり、これに信託などを含めた広義流動性も 6 ヶ月ぶりに伸び率マイナスを解消した(図表 7, 8)。

投信の伸び率が 10 ヶ月連続で一ケタ台にとどまっている一方、定期預金など準通貨の伸びは拡大を続けており、リスク回避目的による安全資産へのシフトの動きが継続している(図表 9)。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。